

リスクと保険特講 II

選択 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

保険会社のERM(全社リスク管理)は、保険会社の新しい経営の考え方として関心が高まっています。さらに国際および国内監督規制・欧州におけるソルベンシーIIの導入・格付会社のERM評価など様々な観点からも焦点が当たってきています。保険会社のERM経営をどのように実践・実行していくか、について欧州のERM先進保険会社の例等を参考にし、ERMに関する基本的な理論を整理していきます。現代における保険会社の競争力の根源は「資本とリスクと収益」の三つを前提として財務健全性を維持しながら企業価値を向上させる仕組みとしての保険ERM経営であると考えられます。さらに保険ERMは資本とリスクと収益の三つを前提とした合理的意思決定に関わるものとして経営戦略そのものであるといえます。リスクと保険特講IIでは、保険ERMに関する基本的な理論について学んでいきます。講義形式を中心にしつつも、グループワークとプレゼンテーションを織り込み学生の主体的な取組みを促す授業運営とします。

2. 授業の到達目標

- ERMに関する基本的な理論を修得することができます。
- 欧州のERM先進保険会社の状況について理解することができます。
- 保険ERM(ストレステスト・リバースストレステスト等)の基本的な考え方を説明できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

- 課題レポート(50%)と課題に対するプレゼンテーション(50%)の実施を通して総合的に判断します。課題(テーマ)については授業中に提示します。
- 課題レポートとは別に、複数回行う個別のテーマに基づき、レポートをまとめてもらいます。その取組状況を勘案します。
- 講義終了後に講義の内容を確認する上でLMSの課題提出機能を使用して確認チェックを実施し、その取組状況を勘案します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

米山高生・酒井重人[編著] 『保険ERM戦略ーリスク分散への挑戦』 保険毎日新聞社
鴻上喜芳 [著] リスクマネジメント論トレーニング 創成社

5. 準備学修の内容

事前事後学修に必要な時間は大学設置基準に則して算出すると15回の授業回数に対して60時間となります。その事前事後学修の主要な課題として次の点を指示します。

- 講義で使用した資料は講義の翌日にはLMSにアップするので、復習を兼ねて資料を熟読して下さい。
- 当日の講義内容の理解を深める上で確認チェックをLMSの課題提出機能を使用して次回講義迄に提出して下さい。
- 個別のテーマに基づきレポートの作成を複数回行います。その準備をして下さい。
- 課題レポートと課題に対するプレゼンテーション実施の準備をして下さい。
- 講義内容に関連する参考文献・資料は授業の中で紹介します。その自主学習に取組んで下さい。

6. その他履修上の注意事項

- 欠席及び公欠の扱いについては原則大学の規定にフォローして下さい。
- 他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守して下さい。(特に私語は慎んで下さい)
- 受講に対してとくに対応が必要な場合(病気・ケガ・障害)は遠慮なく申し出て下さい。
- 授業をよりよくしていく上での建設的な意見・感想・コメントも遠慮なく連絡下さい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | オリエンテーションー授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明 |
| 【第2回】 | 保険ERM態勢のあり方(1) 経営にリスクガバナンスの強化を促す保険ERM |
| 【第3回】 | 保険ERM態勢のあり方(2) 保険ERMの具体的に大事な点は何か |
| 【第4回】 | 欧米の保険会社でのERM進展(1) ERM進展の背景 |
| 【第5回】 | 欧米の保険会社でのERM進展(2) リスク文化とリスクアベタイト・個別リスク管理 |
| 【第6回】 | 保険行政とERM・ERM重視の背景・行政によるERM推進のメリットとデメリット |
| 【第7回】 | ストレステストとストレスシナリオ(1) ERMとストレステスト及びストレステストの手順と方法 |
| 【第8回】 | ストレステストとストレスシナリオ(2) 経営対応の決定と実務上の論点 |
| 【第9回】 | ストレステストとストレスシナリオ(3) リバース・ストレステストの実務 |
| 【第10回】 | ERMと経済価値評価(1) 保険会社のリスクマネジメント |
| 【第11回】 | ERMと経済価値評価(2) 特別編① |
| 【第12回】 | ERMと経済価値評価(3) 特別編② |
| 【第13回】 | プレゼンテーションの練習 |
| 【第14回】 | 課題レポートの提出および課題に対するプレゼンテーションの実施 |
| 【第15回】 | オンライン授業:LMSにコンテンツを掲載するオンデマンド形式で実施 |